

令和4年度 第1回 木更津市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時	令和4年6月16日(木) 午後3時~4時
場所	木更津市役所朝日庁舎 多目的室B
出席者	【委員】会長：中村委員, 副会長：橋詰委員, 友光委員, 飯塚委員, 池野委員, 西山委員, 小山委員 【事務局】地域包括支援センター管理者： 青木(中部), 金子(西部), 佐々木(南部), 本吉(北部), 鳥澤(富来田) 高齢者福祉課：中原課長, 山本課長補佐, 里見主任主事
傍聴人	0人
議題	議題1 令和3年度事業報告及び収支決算について 議題2 令和4年度事業計画及び収支予算について 議題3 指定介護予防支援の委託先指定居宅介護支援事業者との契約について
議事の内容	・新型コロナウイルス関連 出席者全員のマスク着用を確認した。資料は事前に郵送したうえで短時間開催の呼び掛け、会議前後の消毒等、感染症対策を行った。
	<p>議題1 令和3年度事業報告及び収支決算について 各地域包括支援センターの設置運営状況等を事務局から説明後、各センターの事業実績報告について各管理者から報告した。</p> <p>西山委員 野の花の家で実施された認知症サポーター養成研修の受講者は児童か。 鳥澤管理者 小学校4,5,6年生を対象に児童用の養成研修を行っている。 中村会長 緊急ショートステイはどのようなケースで使用したのか。 金子管理者 認知症の症状から自宅の床が揺れる幻覚を引き起こし、隣家の駐車場で一晩を過ごす状態となったため緊急ショートステイを使用した。 橋詰副会長 千葉認知症オレンジ大使とは、どのような活動をするのか。 本吉管理者 千葉認知症オレンジ大使は認知症を患う本人で、全国各地の講演依頼等の要請に対し、対応可能な範囲で認知症を患う当事者としての気持ちを認知症にかかわる専門職等に教えてくれる。市の認知症フォローアップ研修等にも講演を依頼する計画がある。</p> <p>審議結果：承認</p>
	<p>議題2 令和4年度木更津市地域包括支援センター事業計画及び収支予算について 令和4年度の設置運営方針に基づき作成した各地域包括支援センターの事業計画等を、各管理者から説明した。</p> <p>小山委員 チームオレンジとはどういったものか。 本吉管理者 各市で独自の形態を決めてよいことになっているが、木更津市の形態は、まだ決まっていない。どのような方向性となっても認知症の人・家族を支援するために市全体として1つのチームとなって進めていくことを考えている。 事務局 認知所サポーター養成講座等を受講済みである地域の人に常時、相談や話ができる場を地域で1箇所設ける等の取組みをしている自治体もある。</p>

木更津市としても今後どのような取組みができるか検討することも含めて、これからチームオレンジの立ち上げを進めていく。

西山委員 中部及び北部地域包括支援センターの令和4年度収支予算書の中で、賃借料が高いが問題ないか。

事務局 中部地域包括支援センターの賃借料については、地域包括支援センターの設置場所が市の建物を使用しているため賃借料が発生している。また、中部地域包括支援センターについては、ランチも設置していて、その分の賃借料も発生しているが、委託業務を遂行する上で必要な経費ということで市から委託料に含み支払いをしている。

審議結果：承認

議題3 指定介護予防支援の委託先指定居宅介護支援事業者との契約について
前回協議会以降の委託契約分について説明。

質問・意見 特になし

審議結果：承認

会議終了